

## かぜ・インフルエンザ①



冬の健康の大敵といえ  
ば、かぜ・イン  
フルエンザだ。合併症の  
肺炎が日本人  
の死因の第4  
位を占める一  
方、新型イン  
フルエンザ大流行の危険性  
も高まるばかり。万病のも  
とから身を守る方法を5回  
連載でお届けしよう。

そもそも、かぜとインフ  
ルエンザはどこがどう違う

のだろうか。

「かぜは90%以上、ウイル  
ス(病原微生物)が呼吸器に  
感染して起こります。原因  
となるウイルスは200種類  
以上もあり、せきや鼻水、  
発熱、頭痛、胃腸障害など、  
さまざまな症状を引き起こ  
します。これらを総称して  
「かぜ症候群」と呼びます」  
と、中田クリニックの中田  
絢一郎院長は説明する。

一方のインフルエンザ  
は、伝染性の強いインフル  
エンザウイルスが原因で起  
こり、A型、B型の  
2タイプがある。

「インフルエンザをかぜ  
症候群に含める場合と別扱  
いする場合がありますが、  
普通のかぜ(普通感冒)との  
違いは38度以上の高熱が出  
て、全身症状が重症化する  
ことで、肺炎や脳症を合併  
して生命に危険が及ぶ場合  
もあります」と、中田院長。

インフルエンザウイルス  
で怖いのはA型。活発に変  
異を繰り返して突然、新型  
インフルエンザウイルスと  
なり、10~40年ほどの間隔  
で世界的な大流行を巻き起

こしている。

中でも史上最強のインフ  
ルエンザと言われるのが19  
18年にスペインから全世界  
に流行した「スペインか  
ぜ」。死者は2000万~4000  
万人、患者数は20億人にも  
上った。このほか46年のイ  
タリアかぜ、57年のアジア  
かぜ、68年の香港かぜ、77  
年のソ連かぜなどが猛威を  
振るっている。

「周期的にみて、いつ新  
型ウイルスが発生してもお  
かしくありません」と、中  
田院長は警戒を呼  
びかける。インフ

ルエンザ情報はしっかりチ  
ェックしたい。

(メディカルライター・山  
下 了一)

◇中田 絢一郎(なかた  
・こういちろう)中田クリ



ニック院長。順  
天堂大学医学部  
客員教授。虎の  
門病院呼吸器科  
部長、東邦大学

医学部呼吸器内科教授など  
を経て現職。日本呼吸器学  
会指導医・専門医、日本感  
染症学会指導医・専門医。

毎週土、日、月曜掲載

## 新型ウイルス発生に警戒